

1. 科目名 (単位数)	体育科指導法 (2 単位)	3. 科目番号	SJMP2290 EDEL2313
2. 授業担当教員	坂本 史生	5. 開講学期	秋期
4. 授業形態	1 理論 導入：講義から課題の把握→展開Ⅰ：自分の考えをまとめる→グループでの話し合い→発表→講義のまとめ 2 演習 (指導案の作成と模擬授業による確かめ) 導入：指導法を形にする方法の講義→展開Ⅱ：特性に応じた指導案の作成→グループ内での検討→模擬授業→考察→指導案のまとめ		
6. 履修条件・他科目との関係	2年次春期の「体育」と密接な関連性をもつ授業であることを理解し修得することが望ましい。		
7. 講義概要	(1) 体育科には教科書がないため、指導方法は、教師の裁量によって行われる。そこで、本講義の学習によってどの児童にも体育科の運動の楽しさや喜びを体得させる指導法を身に付ける。具体的には、体育科の学習指導のポイントを運動特性に基づいて理解を図る。 (2) 一般的な特性と児童から見た特性の融合を図ることが、よい授業に結び付くことを映像を通して理解する。 (3) 演習として、実際の授業を通して、授業分析の方法を理解するとともに、学習評価を行い、指導と評価の一体化を図ることの重要性を学び、説明することができる。		
8. 学習目標	以下の目標とその内容は、模擬授業を通して実践的に理解することを目的とする。なお、本講義によって身につけた指導法は教育実習にて試行するなどして児童の実態に即した指導方法として改善し、教師となった際の力とする。 (1) 小学校体育科の目標とその内容を理解するとともに、指導の進め方とその際の技能的なポイント、態度や思考・判断の留意事項などは、学習指導案を教師の指導言葉によって具体的に記述するなどして、身につけることができるようになる。 (2) 学習評価の在り方を評価規準まで掘り下げて理解することを通して、指導と評価の一体化の理解を図ることができるようになる。 (3) 模擬授業を体験することにより、授業の実際を体験し、よい授業の条件を理解できるようになる。 (4) 現場の教師との対話から児童の反応と運動の技能等を身に付けさせる言葉掛けの実際を把握できるようになる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	学習目標に到達するために、以下の課題に取り組む。 課題1 テキストを参考に学習指導案を作成する。(個人及びグループ) 課題2 グループに分かれて検討を重ね指導案発表会または模擬授業で発表する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 小学校学習指導要領解説 体育編 (平成 29 年 7 月 公示 文部科学省) 松田恵示、鈴木聡、眞砂野裕編「子どもが喜ぶ!体育授業レシピ—運動の面白さにドキドキ・ワクワクする授業づくり」(平成 31 年、教育出版) 【参考書資料】 小学校学習指導要領 (平成 29 年 7 月 公示 文部科学省)。 【参考書】 必要に応じて適宜配布する		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 (1) 学習指導案を作成し、模擬授業などを通して体育指導の方法を身に付けることができる。(学習目標 1) (2) 指導と評価の一体化の理解を図ることができる。(学習目標 2) (3) 意欲的に模擬授業を体験し、体育指導の実際を把握する。(関心、意欲) ○評定の方法 成績評価の規準 授業への積極性 (50%)、レポート (20%)、実技の積極性 (30%) の結果を総合的に判定する。		
12. 受講生へのメッセージ	・体育は他教科にない特性を持ち、学級経営の成功のための大きなカギを握ります。「体育の授業が上手にできればよい教師である」といっても過言ではありません。運動特性を捉えた上で、模擬授業等を参観することにより、現場ですぐに役立つ指導技術を身に付けることをめざしています。私自身の 25 年間にわたる体育授業実践のノウハウを伝授しますので、子どもたちに感動を与えられる教師をめざして下さい。		
13. オフィスアワー	別途通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション (本講義の意義と今後の流れ) *本講座で行う模擬授業の位置づけとグループ分けを行い、意識を高めさせる。	事前学習	本講義内容をシラバスにてあらかじめ把握し臨む。
		事後学習	各グループで提案授業の内容の計画を立てる。
第 2 回	講義 日本における体育科教育の変遷と今日における体育科の特性および目標 *これまで歩んできた体育科教育の流れを把握するとともに今日的課題を知る。 *新旧の学習指導要領を比較し、加除訂正が加えられた部分について把握・理解し解説ができる。	事前学習	これまでの学習指導要領のだいたいの流れを調べる。
		事後学習	新学習指導要領における体育の位置づけを理解し、これから子どもたちをどのように育てていけばよいのかについてレポートにまとめる。
第 3 回	講義 体育科の領域構成 単元計画の立て方、教材研究のポイント (電子黒板、PC 等の情報機器及び教材の活用も学修する) *各自治体における最新の体育科指導案を提示し、指導案からイメージされる授業についてディスカッションすることができる。	事前学習	過去の体育科学習指導案を見て書き方のポイントを理解しておく。
		事後学習	実際の指導案の書き方を確認する。次時の模擬授業の説明をする。
第 4 回	グループワーク① 「体育科学習指導案作成 (低学年の領域から)」	事前学習	提案グループの指導案に目を通し、授業の流れを把握する。

	*各グループにわかれて役割分担をし、模擬授業に向けて指導案の細案作りをする。作成に当たってはword、excel等を活用。(情報機器及び教材の活用も考慮する)	事後学習	模擬授業を振り返り、指摘を受けた部分やお互いのディスカッションを参考にして次時の授業に生かせるようにする。
第5回	グループワーク② 「体育科学習指導案作成(中学年の領域から)」 *引き続き、各グループにわかれて、模擬授業に向けて指導案の細案作りをする。作成に当たってはword、excel等を活用。(情報機器及び教材の活用も考慮する)	事前学習	提案グループの指導案に目を通し、授業の流れを把握する。
		事後学習	模擬授業を振り返り、指摘を受けた部分やお互いのディスカッションを参考にして次時の授業に生かせるようにする。
第6回	グループワーク③ 「体育科学習指導案作成(高学年の領域から)」 *引き続き、各グループにわかれて、模擬授業に向けて指導案の細案作りをする。作成に当たってはword、excel等を活用。(情報機器及び教材の活用も考慮する)	事前学習	提案グループの指導案に目を通し、授業の流れを把握する。
		事後学習	模擬授業を振り返り、指摘を受けた部分やお互いのディスカッションを参考にして次時の授業に生かせるようにする。
第7回	模擬授業1「表現リズム遊び領域から」(グループワーク 授業分析 授業振り返り) 振り返りにあたってはpowerpoint等を活用。 *模擬授業評価の観点 ア、授業が概ね指導案どおりに進んでいるか イ、チームティーチングの配置は適切か ウ、発問が適切か エ、対象者(他の学生)は担当グループに協力的か オ、振り返り時に活発な意見交換ができてきているか カ、前時の反省が生かされているか 等 *相互評価も実施 (「模擬授業評価の観点」の内容は、第14回まで同じ)	事前学習	提案グループの指導案に目を通し、授業の流れを把握する。
		事後学習	模擬授業を振り返り、指摘を受けた部分やお互いのディスカッションを参考にして次時の授業に生かせるようにする。
第8回	模擬授業2「走跳の運動遊び領域から」(グループワーク 授業分析 授業振り返り) 振り返りにあたってはpowerpoint等を活用。 *模擬授業評価の観点(第7回と同じ) *相互評価も実施	事前学習	提案グループの指導案に目を通し、授業の流れを把握する。
		事後学習	模擬授業を振り返り、指摘を受けた部分やお互いのディスカッションを参考にして次時の授業に生かせるようにする。
第9回	模擬授業3「陸上運動領域から」(グループワーク 授業分析 授業振り返り) 振り返りにあたってはpowerpoint等を活用。 *模擬授業評価の観点(第7回と同じ) *相互評価も実施	事前学習	提案グループの指導案に目を通し、授業の流れを把握する。
		事後学習	模擬授業を振り返り、指摘を受けた部分やお互いのディスカッションを参考にして次時の授業に生かせるようにする。
第10回	模擬授業4「器械器具を使つての運動遊び領域から」(グループワーク 授業分析 授業振り返り) 振り返りにあたってはpowerpoint等を活用。 *模擬授業評価の観点(第7回と同じ) *相互評価も実施	事前学習	提案グループの指導案に目を通し、授業の流れを把握する。
		事後学習	模擬授業を振り返り、指摘を受けた部分やお互いのディスカッションを参考にして次時の授業に生かせるようにする。
第11回	模擬授業5「器械運動領域から」(グループワーク 授業分析 授業振り返り) 振り返りにあたってはpowerpoint等を活用。 *模擬授業評価の観点(第7回と同じ) *相互評価も実施	事前学習	提案グループの指導案に目を通し、授業の流れを把握する。
		事後学習	模擬授業を振り返り、指摘を受けた部分やお互いのディスカッションを参考にして次時の授業に生かせるようにする。
第12回	模擬授業6「ゲーム領域から」(グループワーク 授業分析 授業振り返り) 振り返りにあたってはpowerpoint等を活用。 *模擬授業評価の観点(第7回と同じ) *相互評価も実施	事前学習	提案グループの指導案に目を通し、授業の流れを把握する。
		事後学習	模擬授業を振り返り、指摘を受けた部分やお互いのディスカッションを参考にして次時の授業に生かせるようにする。
第13回	模擬授業7「ボール運動領域から」(グループワーク 授業分析 授業振り返り) 振り返りにあたってはpowerpoint等を活用。 *模擬授業評価の観点(第7回と同じ) *相互評価も実施	事前学習	提案グループの指導案に目を通し、授業の流れを把握する。
		事後学習	模擬授業を振り返り、指摘を受けた部分やお互いのディスカッションを参考にして次時の授業に生かせるようにする。
第14回	模擬授業10「保健領域(心の健康から)」(グループワーク 授業分析 授業振り返り) 振り返りにあたってはpowerpoint等を活用。 *模擬授業評価の観点(第7回と同じ) *相互評価も実施	事前学習	提案グループの指導案に目を通し、授業の流れを把握する。
		事後学習	模擬授業を振り返り、指摘を受けた部分やお互いのディスカッションを参考にして次時の授業に生かせるようにする。
第15回	まとめと評価 *体育の指導に際して対象児童における適切な指導の細案を個々で作成することができ、学校現場における指導案作りの重要性が理解でき、学校現場で十分に活用できる能力を身につけることができたか。	事前学習	これまでの一連の模擬授業を思い出し、新しい指導案を考える。
		事後学習	体育科学習指導案の書き方の基本を押さえ、実際の現場で生かせることができるよう確認する。